

平成30年度第1回 伊賀市ごみ減量・リサイクル等推進委員会 議事概要

日 時：平成30年6月26日（火）午後2時から

場 所：さくらリサイクルセンター2階 大会議室

出席者：委員14人中12人

今岡委員長、大田副委員長、川瀬委員、松本委員、福嶋委員、福島(康)委員、
森岡委員、前川委員、三輪委員、住澤委員、森西委員、前山委員

事務局：田中人権生活環境部長

廃棄物対策課 西尾課長、林副参事、増井主幹、赤津主査

さくらリサイクルセンター 福永所長

浄化センター 南所長

<議事概要>

(西尾課長による進行)

1. 委嘱状交付

田中部長から各委員へ委嘱状を交付。

2. 田中人権生活環境部長挨拶

- ・三重ごみ固形燃料発電所施設前倒し終了（平成31年9月頃）に伴いさくらリサイクルセンターごみ燃料化施設を前倒し終了する。将来、名張市との広域化によるごみ処理を基本構想として、それまでの間は民間処理業者による処理を考えている。
- ・(仮称)汚泥再生処理センターを平成32年4月から本稼働できるように建設している。
- ・「都市鉾山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に参加し、市内の拠点に設置した小型家電回収ボックスによりリサイクルに取り組んでいる。

3. 委員自己紹介

4. 事務局職員自己紹介

5. 所属別担当業務について

事務局から資料1に基づき説明

6. 委員会の概要について

事務局から資料2に基づき説明

7. 清掃事業の概要及び主要施策について

事務局から資料3に基づき説明

8. 役員の選出について 資料4

事務局一任との意見があり、事務局案を提案し承認された。

・委員長 今岡 勝氏

(今岡委員長による進行)

ご意見がないので、事務局案を提案し承認された。

・副委員長 大田 棟弘氏

9. その他

・交通費請求書について

交通費の請求書は、1年分(会議出席分)纏めて提出をお願いしたい。今日お帰りの際に、さくらリサイクルセンターから自宅までの距離を測っておいていただいて、次回会議の際に提出ください。請求書の用紙は、次回会議の案内時に送付します。

【質疑応答】

委員

さくらリサイクルセンターと伊賀南部クリーンセンターとでは処理方法が違ったと思うが、RDFを作るほうが効率が良いのか。

事務局

さくらリサイクルセンターは可燃ごみでRDF固形燃料を作る施設で、伊賀南部クリーンセンターは焼却施設となっていて、どちらが効率が良いとかではなく、処理方法がまったく違うわけですので。

委員

RDFが来年で打ち切りと県が発表し、さくらリサイクルセンターの機能を一時的に民間へ委託すると話があったが、例えば、さくらリサイクルセンターと伊賀南部環境衛生組合が一体化して新しくごみ焼却施設を造るには最低でも10年かかると思う。

候補地を決めるにも相当な日数がかかる。もし、名張・青山とさくらリサイクルセンターが一体となれば、場所の問題から協議をしなければいけないと思うが、候補地の選定に入っているのか。

事務局

伊賀市としては、RDFを終了した後のあり方の方向性は持っているが、名張市はまだ一つの案としてということにして、こうしたいという方針は出ていない。

候補地が決まってから7年ないし8年掛かるだろうというスケジュール感を持っているが、候補地の選定がいつになるかとか、いつ始められるかとのスケジュールは決まっていない。

委員

伊賀南部クリーンセンターもすでに稼働し年数が経っていて、延長なしで次を考えて欲しいと希望を受けて現在の地域に建ててある。南部自体もどんな調査が入っているかわからないが、候補地を選んでいかないと間に合わない時期になってきていると思う。それがさくらリサイクルセンターと一緒になれば規模が大きくなるし、南部はガス化溶融炉でゴミを溶かして、北部は固形燃料を作っている。まったく方法が違う。相当早くから協議いただかないと間に合わないのでは。

民間の受け入れが可能であるとのことですが、民間施設は受け入れ当初は安くしてくれるが、必ず値上がりしてくるのが目に見えているわけですから、公益なり公的な施設でゴミ処理をやるべきではと思う。そういう事で決定されているのであれば、なるべく早く協議会を立ち上げていただければと思う。感想ですけれども。

事務局

民間処理に向けての関係地区への説明段階ですので、まずそれから進めていきたいと思っておりますので、ご理解をお願いしたい。

委員

資料3、9ページ分析調査結果の容器包装プラスチック分析調査結果一覧表について、今までは20回なのに29年度だけ分析回数10回と少ない。少ないから分析重量も少なくなるのは当然だと思うが。他の分析調査回数は同じなのに、なぜ、これだけは少なくなったのか理由を教えて欲しい。

事務局

29年度については、各ブロックごとの各地域1回ずつに合わせ、また、他の可燃ゴミや金属類ともに分析調査回数10回ですので、それに合わせて10回回数落としたということで29年度から変更させていただいたと前任から聞いている。

委員

私は阿山の4自治協の代表で出席させていただいている。阿山では4自治協の代表会議を月1回行っている。代表なので説明をしなければいけないが、今回説明を受けたことは重要なことばかり。初めてで非常に難しい。

説明してくれた内容を会議しているところに来ていただいて、大まかで結構で良いので説明しに来て欲しい。支所長に今回の説明をしてもらっても良いのか。

委員

支所ごとに月1回自治協会長会議がある。

希望があれば出向いて説明いただいたら、分かってもらい易いのでは。

事務局

支所とも相談させていただきたい。

委員

資料3、11ページ資源ごみの売り払いについて、金額表示は出来ないのか。

事務局

金額表示も可能である。次回から表に足すことも可能であるので検討したい。

参考に29年度について口頭になります。

アルミ缶 3,452,120円、アルミくず 2,839,500円、鉄くず 2,553,770円、電気コード 644,140円、その他 55,040円、硬プラ 0円、廃食用油 250,890円、小型家電 476,900円、鉄スクラップ 752,426円、合計 11,024,786円です。

委員

その他は、金額と重みが一緒であるが、kg当たり1円で良いのか。

事務局

業者に入札してもらって単価を決めている。29年度は1円であった。

委員

生ごみ処理容器購入費補助や集積場整備等補助金の申請書類は、連絡依頼するのかホームページでダウンロードできるのか。

事務局

ホームページにもダウンロードできるようにアップしている。

委員

西高倉にある不燃物処理場は、そこそこ埋まってきている。あと何年ぐらい見込みとして対応できるか。満杯になったときに別の候補地を考えているのか。

事務局

不燃物処理場は、毎年入れたところは重機で山状にならないよう整地している。

あと何年とか計算はしていないが、まだ搬入できなくなる容積には達していない。新しいところの検討はまだ進めていない状況です。

5～6年程前に質問があった時に、ざっくりですが10年程入ると答弁をさせていただきました。入ってくる量にもよりますが、今のペースですと少なくとも数年はいけるであろうと。竹藪の方、組合の杭が入っているところまでは処理場としてのキャパはある。

以上